



社会福祉法人 岡山子ども協会 障がい児サポート 根っこの広場

あかいわ児童発達支援センター（もみじの家・こぶしの家・かりんの家・てつなぎ・わたぼうし）

〒709-0802 赤磐市桜が丘西 10-2-16

放課後等デイサービス あんずの家

〒709-0721 赤磐市桜が丘東 6-6-704



あんず	こぶし	もみじ
3月	3月	3月
2月21日(月)～3月4日(金) 個別懇談	8日(火)東備支援学校高等部卒業式	6日(土)個別懇談・主曜療育 ※4～6月、10～12月生まれの利用児対象→延期
5日(土) 開所日	15日(火)東備支援学校小・中学部卒業式	10日(木) 避難訓練
14日(月) 避難訓練	18日(金)赤磐市内小学校卒業式	25日(金) 卒所式 ※もみじ単独通所の年長児対象
15日(火) 中学校卒業式	22日(水)支援学校修了式	
18日(金) 小学校卒業式	25日(金)卒所式 赤磐市内小学校修了式	
25日(金) 小学校修了式		
4月	4月	4月
2、16日(土) 開所日	7日(木)赤磐市内小学校始業式	
7日(木) 小学校始業式		※決まり次第お知らせいたします
11日(月) 小学校入学式		



知って Happy! リフレーミング

●来年度も利用される方へ

【連絡用メーリングリスト登録へのお願い】

大雨や地震等の自然災害、新型コロナウイルス感染症など子どもたちの安全を守るための大切なお知らせや事業所からのお願いなどを発信する予定です。

詳しくは各事業所より随時配布しているお手紙をお読みください。ご協力をお願いします。ご不明な点がございましたら、職員までお気軽にお知らせください。

進級、進学など変化の多い季節がやってきます。季節の変わり目は、心の浮き沈みの波に負けそうになることも…

嫌になったり 怒ったり やる気に満ちたり



そこで、今月は

「心の浮き沈みが激しい」

をリフレーミング♪

心豊かな・表情豊かな・繊細な



時には、心をひとやすみ。「春だから～」と気楽にかまえて心をいたわってあげられるといいですね。

『プロ』

我が子のことですが、3月になるとなぜか学校で涙が出やすくなっていたことが一時期ありました。変化に弱いタイプなので、きっと教室や先生が変わるということなどに不安を感じていたのだと思います。当時は本人に話を聞いても「分かん」と答えるばかりでしたが、学校の先生に相談し、サポートしてもらいながら、なんとかその時期を乗り越えていたことを思い出します。

先日ある研修で、『保護者（親）はその子のプロである』ということを知りました。たしかに私たち職員は、こどもと関わるプロとして日々生活していますが、その子の生まれた時からの歴史を一番分かって、一番長くいるのは親です。私たちプロと、その子のプロである保護者の皆さんと力を合わせることで、その子の育ちを支えていくうえで重要なことだと改めて感じました。

またどんな世界でもプロとはいえ、はじめはみんな新人です。たくさんの経験を積み、切磋琢磨していい味のあるプロに育っていきます。私たちも保護者の皆さんも、そうやっていい味を出していけたらいいですね。

今年度もコロナ禍で、様々なお願いをすることとなり、時には不自由な思いをされたこともあるかと思いますが、それでも、温かいご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

平中 健

今月の根っこ



大地から
みんなを支える
根っこの広場

保護者のみなさまとともに子どもたちの育ちを見守り、支えたいという思いを込めました。

編集後記

今年度も毎月お読みいただき、ありがとうございました。コロナばかりのニュースの中、少しでも読んで楽しい・ホッとできるようなお便りになっていたら嬉しいです。来年度もどうぞよろしくお願いたします。

信砂知恵（こぶし）・岡野由希（あんず）・池口奈美（もみじ）

あんず



折り紙で折った
とんとん相撲

こぶし



鬼だぞ～！！
ピースポーズの優しい鬼です。

もみじ



倒れないように
そーっと慎重に…



こぶしの家

『背中と手におもいをのせて』

学校へ迎えの際、私に会うとAさんは、「勉強したよ。重いよ」と言いました。手には、体操服とこぶしのバック。背中には、ランドセルに勉強道具がありずっしりと重い感じがよく伝わってきました。私は「おかえり」と言いながら、Aさんの声のトーンや満足気な表情から、学ぶことの楽しさや喜びを教えられたような気がしました。いろいろな場所でのさまざまな学びの蓄積がこどもを大きくしているのですね。

土屋 勇気



こぶしの家で収穫した白菜を給食室へ持って行き、翌日のおやつ野菜スープの中に入れてもらいました。事前に畑でとれた白菜が入っていること伝え、いざ美食。自分たちが植えて収穫した白菜の味は格別のおいしさでした。



あんずの家

『ホップ・ステップ・ジャンプ』

クリスマスにホッピングが届きました。見るだけのこどもが多く、乗っても恐るおそるだったのですが、最近は回数多くとんだり、フラフープで道を作ってゴール目指して挑戦したりしています。こどもの身体能力はすごいなあと思っているとそれだけではなく、今までは見ているだけだった子が「あの子とべるようになってる！」と頑張ってみようとしていたり、また、とべた子がホッピングを持ってバランスをとってあげたりと、こども同士での関わりがあって成長していると感じました。

坂口 絵梨



降所時Bさんが別室にいる私に「さようなら」とあいさつをしにきてくれました。あいさつするとお互いにほっこりとしたあたたかい気持ちになるなと思いました。コロナ禍でマスクのため表情が伝わりにくいですが挨拶を大切にしたいです。



ホームページ



もみじの家

『マスクをつけよう』

紙芝居で咳エチケットについての話をしました。咳やくしゃみをすると、その飛沫にウイルスがいるかもしれないので、マスクをしたり、ハンカチで口を塞いで咳をしたりすることを伝えました。どうしてマスクをしなければいけないのか、こどもたちが理解できるよう伝え、こどもたち自ら感染対策がとれるようにしていきたいと思います。

鈴木 幸子



帰る時、帽子を忘れたことに気づき少し不安そうな顔のCさん。すると「帽子がなくても大丈夫！」と大きな声で宣言!?まるで不安な自分におまじないをかけているようで、それいいねと感心しました。そして、私も前向きに捉えたいなと思えた瞬間でした。



ねっこ なんでも Q&A



Q: 外出時に何かが気になって、大人から離れてこどもだけでどこかに行きそうになることが度々あります。大人の近くにいてもらえたら安心でもっといろいろな場所に連れて行ってあげられるのですが…。

A: そうですね。こどもが大人から離れてとんとん一人でお出かけしてしまうと、危険が伴いますから心配ですね。こどもの立場からすると「おもしろそうな物見つけたから、ちょっと近づいてみよう」と言う気持ちが強く働くだけかもしれません。日常から「ここは手をつなぐ場所」とこどもに伝え、短時間でも手を繋いで並んで歩く練習をしておくといいです。そして、公園などでは、しっかり一人で自由に移動できるという両面の体験が有効です。

A: 外にいる時は「てをつなぐ」ことを約束して繰り返し伝えてみてはいかがでしょうか？また、大人の目線とこどもの目線では見えているもの、見えているものが違うので、こどもにどこに行きたいかを尋ね、行きたい表現があれば大人が合わせる方が、その子の興味や関心を広げることにもつながると思います。

